

日本原子力学会 核燃料部会
平成 28 年度第二回運営小委員会議事録

日時 : 平成 28 年 7 月 6 日 (水) 12:15~13:15

場所 : 群馬県伊香保「ホテル天坊」(夏期セミナー会場)

出席者 : 湊部会長、篠原 (池田委員代理)、上田委員、尾形委員、草ヶ谷委員、
手島委員、永瀬委員、橋爪委員、澤田 (藤塚委員代理)、河原 (記)

議事

1. 前回運営小委員会議事録等の確認

河原庶務幹事から、資料 1 により、前回 (平成 28 年度第一回) 運営小委員会議事録が提示された。コメント反映済みであり、説明は省略した。

2. 委員の交代について

河原庶務幹事から、資料 2 により以下の 2 名の委員の交代について報告された。今後、核燃料部会全体にメールにて審議を行うこととした。

- ・ 中部電力 : 野田 宏 委員 → 原田 健一 委員
- ・ 日本原電 : 高松 樹 委員 → 島田 太郎 委員

3. 核燃料部会規約、内規の改定について (報告)

河原庶務幹事から、資料 3 により、核燃料部会規約、核燃料部会細則、部会賞表彰細則について、核燃料部会全体へのメール審議の結果、特にコメントがなかったため、承認となった旨報告された。

今後、学会事務局より部会等運営委員会および理事会へ報告がなされる予定。

4. 核燃料部会ホームページ (HP) における福島第一関連の検討課題の取扱いについて

河原庶務幹事から、資料 4 により、平成 27 年度第 4 回運営小委員会での部会長コメントを踏まえて、核燃料部会 HP に関して福島第一関連をまとめて見る事ができるように改善したいとの提案がなされた。

まずは、HP 改善内容のドラフト版を作成し、運営小委員会メンバーで意見交換することとした。

5. 部会賞実施要領の改定について

尾形委員から、資料 5 により、先般の部会規約および内規の改正に合わせて、部会賞実施要領も改定する必要がある旨報告がなされた。

改定内容については、部会規約などの記載内容に合わせる他、改定方法を明記するとともに、部会賞表彰細則と同様に改定の権限を核燃料部会全体会議から運営小委員会とすることとした。

2週間程度で運営小委員会メンバーの確認を受けた後、核燃料部会全体にメール審議を行うこととした。

6. ポジションステートメント(PS)について

尾形委員から、資料6により、PS「燃料デブリについて」について、本年4月27日の広報情報委員会のコメント（理解の助けとなる図表や写真などを用いた方が望ましい、解説に「3. 部会での取り組み」は不要ではないか）を踏まえた修正内容について説明がなされた。

内容確認については、企画小委員会および運営小委員会の両委員会で並行して行うこととした。

7. 部会等主催の教育的プログラムに関する情報提供のお願い

手島委員から、資料7により、学会の教育委員会が奨励する継続研鑽(CPD: Continuing Professional Development)のプログラムに夏期セミナーを登録するか否かについて検討依頼がなされた。

結論としては、夏期セミナーをCPDプログラムに登録してほしい旨の学会からの依頼であることから、依頼どおり登録することとするが、あくまでも賛同してくれる方を対象として登録とすることとした。

夏期セミナーの事務局より、今回の夏期セミナー参加者に賛同の可否を確認し、賛同してくれる方には原子力学会員番号の情報を提供してもらうこととした。

8. その他

(1) 第29回 核燃料・夏期セミナーの状況について

夏期セミナー事務局の手島委員より、今回の夏期セミナーの参加状況（参加者47名、そのうち学生10名。ポスターセッションは、13名参加）などについて報告があった。

(2) 第三回運営小委員会について

次回の第三回運営小委員会の日程は、11月11日（金）を第一候補とした。

9. 結言

部会長から、今回の夏期セミナーにはたくさんの方に参加いただき、充実したものとなっていることに対してお礼が述べられた。

以上